




<b>栃木県立栃木工業高等学校</b>							
〒328-0063 栃木県栃木市岩出町129 ☎0282-22-4138		惣福 太一		大出 康平		高田 真史先生	
活動団体	栃工高国際ボランティアネットワーク			活動人数	12人		
主な活動時間	休み時間や放課後			担当教諭	高田 真史		
最終審査会発表生徒	<small>そうふく たいち</small> 惣福 太一(2年) <small>こうへい</small> 大出 康平(2年)						

## 地域と世界をつなぐ「空飛び車いす」

### 【目標・今後の計画】

活動目標として、明日の地域社会と世界に貢献できる「心豊かな技術者を目指して」を掲げ、工業高校の特色を生かした車いす修理活動を行ってきた。使われなくなった車いすを地域の福祉施設などから提供していただき、私たちの手で修理をする。その車いすを必要としている世界各地(主にタイ)の人たちに送り届けるリサイクル活動を1992年より実施している。今後の目標として、タイに赴き同世代の現地生徒と交流をしながら、共にリサイクル活動を行っていくことで、現地生徒が車いす修理活動を積極的に行っていく、無償のリサイクル活動の輪を広げていきたい。

学校内では生徒全員が問題意識を共有することで、学校全体で取り組める体制づくりを進める。また、車いすを提供してくださった地域の方々には、活動の経過をフィードバックすることで地域との連携をさらに強め、地域から世界に向けたより“グローバル”なりサイクル活動を幅広く展開していく。

### 【活動内容】

1992年から始まったタイでの車いす修理も2016年12月の訪問で24回を数えた。今回は、栃木市内の福祉施設などから提供していただいた車いすを学校で修理し、タイ南部のクラブー病院に持参、12台の車いすを必要とする方々に贈呈した。さらに、地元クラブー・テクニカル・カレッジの生徒と共に、3日間の車いす修理活動を行い、計17台のリサイクルした車いすを利用者の方にお渡しすることができた。本校生2～3名にタイの生徒1名を加えたチームを作り、計5チームで作業にあたった。コミュニケーションをとるのが大変だったが、ボディランゲージも含めて思いを伝えることで徐々に作業効率も高まり、ものづく

りの楽しさを共有することができた。何より、身につけた技術を人のために役立てることの素晴らしさと大切さを伝えることができた。

タイでのリサイクル活動終了後には、学校の生徒全員を対象とした報告会を実施した。また、車いすの修理費用に充てるため、アルミ缶リサイクル活動も実施している。さらに、総合的な学習の時間(1年生対象)を利用して、車いすの乗車体験や車いす修理体験を実施するなど、学校内でのさまざまな活動を通して全校生徒がリサイクル活動を身近に感じ、目的を共有することができた。

地域の方々へは、地元新聞の取材、コミュニティーラジオの出演、地域イベントへの参加などを通じてタイで行った活動内容を報告、より多くの皆さんにこの



